

受験番号

氏名

二〇二一年度

武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科

特待生選抜入学試験

二〇二一年一月三十日実施

国語総合（一〇〇点 五〇分）

注意事項

- 一 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 解答を始めるまえに、問題冊子と解答用紙の両方の所定欄に受験番号と氏名を記入しなさい。
- 三 この問題冊子は、8ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 四 解答は、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。
- 五 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六 不正行為について
 - ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意をしますので、注意や指示に従ってください。従わない場合には、不正行為とみなされる場合があります。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
- 七 試験終了後、問題冊子は回収します。

問一 次の——線部の漢字の読みを答えなさい。

(1) 試合に惨敗してしまい、惨めな思いを抱く。

(2) 会場の客は老若男女を問わず、赤若しくは緑のリボンを身に付けていた。

(3) 家の普請のために、親戚に助けを請う。

(4) 大事な衣装を忘れてしまったが、平静を装って舞台に立った。

(5) 激しい戦闘によって街が焦土と化し、家族の安否の確認に気が焦る。

問二 次の空欄に入る漢字を使った熟語を四つの中から記号で答えなさい。

(例) らかに話す

ア、急流 イ、華麗 ウ、円滑 エ、潤沢

(正答) ウ (滑らかに話す)

(1) そ優雅とは言えない振る舞いである。

ア、太平 イ、凡例 ウ、甚大 エ、誰何

(2) 仕事のらボランティア活動にも励む。

ア、路傍 イ、平等 ウ、薄利 エ、彼岸

(3) 頑張ったのにこの仕打ちはあまりにい。

ア、優秀 イ、睡眠 ウ、酷評 エ、騒音

(4) 確認を怠ったのは私のちだ。

ア、過去 イ、打倒 ウ、有利 エ、立場

(5) 美しい舞でドレスの裾がる。

ア、得意 イ、見解 ウ、破壊 エ、翻訳

問三 次の四字熟語の空欄部分をカタカナの語群の中から選び、漢字で答えなさい。

(1) () 一転

(2) 大義 ()

(3) 清廉 ()

(4) () 直入

(5) 独断 ()

《語群》

ケツパク

メイブン

ソウイ

シンキ

タントウ

センコウ

問四 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(1) 傍線部 (一) について、「このこと」が指す内容を答えなさい。

(2) 傍線部 (二) について、文中にたびたび出てくる「人」という言葉がどのような意味を込めたものであるか、次の中から選び、番号で答えなさい。

1、人格や個性といった内面のこと

2、美しい自然の表現

3、肩つきや後ろ姿

4、彫刻

(3) 傍線部 (三) について、「それは「断片」となっている」のはなぜか、説明しなさい。

- (4) 傍線部(四)について、「この点」とは何か、答えなさい。
- (5) 傍線部(五)について、「それに優れた発展を与えたものは、ほかならぬ日本人なのである」ことの根拠として筆者が考えていることを、文中から抜き出し答えなさい。
- (6) 傍線部(六)について、「能面はそれを消極的に徹底せしめたと言える」とあるがどういふことか、説明しなさい。
- (7) 傍線部(七)について、「それ」が何を指すか答えなさい。
- (8) 傍線部(八)について、「能面が舞台に現れて動く肢体を得た」とはどういふことか、文中の語を使って答えなさい。
- (9) 傍線部(九)について、「驚くべきこと」とはどんなことを言っているのか、文中から抜き出しなさい。
- (10) 問題文の論旨のまとめとなっている部分を、本文中から抜き出しなさい。

武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部
 国際コミュニケーション学科
 特待生選抜試験 解答用紙 2021年1月30日実施

受験番号

氏名

問一
(各2点)

(1)	さんぱい	みじ
(2)	ろくにやく	も
(3)	ふしん	こ
(4)	いしやう	よそお
(5)	しやうど	あせ

問二
(各2点)

(1)	イ	(2)	ア	(3)	ウ
(4)	ア	(5)	エ		

問三
(各2点)

(1)	心機	(2)	名分	(3)	潔白
(4)	単刀	(5)	専行		

※は記入しないこと
 ※

--

問 四

- (1) (5点) (例)人を思い浮かべるとき顔だけは取り除くことができない
- (2) (5点) 1
- (3) (5点) 顔が人の存在にとって中心的地位を持つから
- (4) (5点) 顔が人の存在の中心であること
- (5) (5点) 日本の彫刻家の眼が肉体の美しさよりもむしろ肉体における「人」に、したがって「顔面の不思議」に集中していたこと
- (6) (5点) 顔面から一切の人らしさを消し去ったものであること、徹底的に人らしい表情を抜き去っていること、等
- (7) (5点) 能面の鬼
- (8) (5点) 面がそれを被って動く役者の肢体や動作を己の内に吸収してしまう
- (9) (5点) 表情を抜き去ってあるはずの能面が実に豊富きわまりのない表情を示し始めること
- (10) (15点) 顔面は人の存在にとって核心的な意義を持つものである。従ってそれは単に肉体の一部であるのではなく、肉体を己に従える主体的なるものの座、すなわち人格の座にほかならない。

※は記入しないこと
※